進路便り

６月２５日

清友高校　進路指導部

AO入試での受験を考えている人に

専門学校の場合

すでに、大学・短大・専門学校のオープンキャンパスに参加し、そこで AO 入試について説明を受けたり、エントリーを薦められた人は多いと思います。すでにエントリーし、面接・集団討論を受けたり、論文・レポートの課題に取り組んでいる人もいると思います。

そこで、今一度 AO 入試について次の点を踏まえて考えてみて下さい。AO 入試では、内定通知を受け取った後、正式出願した時点で専願扱いになり、後戻りが出来なくなる制度だからです。

①第１志望校を決定しましたか。まだ第１志望校を決めていなくても決して遅い事はありません。各校の情報をよく把握し複数校（３校）オープンキャンパスに参加し、しっかり見極めて決めて下さい。８月２０日までに決めて下さい。

②すでに AO 入試にエントリーしている場合、その学校が本当に第一希望なのか再確認しましょう。第１希望であれば、AO 入試で合格をつかみ取るよう頑張って下さい。第１志望であるという確信が持てない場合、エントリーを辞退しても全く問題はありません。

③エントリーした人で、内定通知を受け取った時が、最後の決断をする時です。早い人はすでに受け取っているかもしれません。そして最も早い場合は、８月１日～〇日の間に正式な書類を提出する旨の指示がなされます。以下の３点（A）（B）（C）をよく考えて出願するかどうか決めて下さい。

（A）正式出願し合格手続きをする。その場合必ず入学するのが条件。

（B）第１志望なので入学するつもりだが、その学校の指定校推薦があるので、出願を見送り、８月末の指定校推薦選考に申し込む。（AO 入試より指定校推薦の方が、受験料・入学金等の特典が大きいと判断したため）

（C）内定通知は届いたが、他の学校の受験に変更する。その場合、出願を見送っても問題はありません。

大切な注意

A0 入試は学校を介さず、個人の資格で申し込める制度です。従って全く学校が関与しないまま出願に至る事もありえます。しかし自分の大切な進路を考える上で、自分だけで決めてしまうのは大変危険です。エントリーする時や正式出願する時等は、必ず担任か進路まで相談に来ること。

大学・短大の場合

AO 入試が入試制度の全てではありません。１学期の早い時期から入試に直面するため、ともすれば焦らされて「決めなくては」、と思いがちですが、焦る必要は全くありません。努力する中でしっかり考えて下さい。「頑張れば合格に手が届く」大学・短大を選び取ることです。。

８月２０日までに第１志望を決めて下さい。受験方法は次の３通りです。

（A）指定校推薦の中に第１志望校があれば、指定校校内選考に申し込むこと。

（B）指定校推薦がなければ公募制推薦の受験を考える事。

（C）AO 入試が自分の得意分野（小論文・プレゼン・討論）に関わり有利な点がある場合は AO 入試の受験を検討する。

公募制受験は１２月までです。１２月までに進路を確定するという、強い決意で臨むこと。あくまで第１希望を実現するため、一般まで頑張る事はもちろん推奨しますが、大変な努力と決意が必要です。